

夏真っ盛り。子供たちは元気いっぱいに遊んでいます。元気そうに見えても体は意外と疲れています。ゆとりと過ごす時間も大切にしてください。

現在、別府支援センターの登録者数は200人、牛牧支援センターは100人ほどと多くの方に利用して頂いています。「センターに来るとホッとする」など嬉しい声を聴かせて頂きスタッフ一同喜んでいますが、「センターのことを知らなかった」「一人で行くには…」という声もあります。初めて来所される親子さんにも気軽にきていただけるよう温かい雰囲気作り心がけています。ご近所に小さいお子さんがみえましたら、是非お誘いください。また、何か気が付かれることがありましたら、遠慮なく聞かせてくださいね。「来てよかった」「また行こう」と思っただけのようなセンターでありたいと思っています。

<p>《支援センター情報》 現在、別府保育所地域子育て支援センター、牛牧第2保育所地域子育て支援センターは開所していますが、今後の感染症の状況に応じて、臨時閉所や利用人数や事業内容が変更する場合があります。ご理解・ご協力をお願いします。(HP・ままフレ、広報などでご確認ください)</p>	<p>《利用時間・人数》 【施設開放時間】:要予約 1回目 10:00~11:30 2回目 13:00~14:30 別支:各回 10組まで 牛支:各回 6組まで 【子育て相談】 来所でも電話でも可 10:00~15:00 *来所の場合は、事前に電話連絡をしてください</p>	<p>《予約の申し込み方法》 【予約・キャンセル受付時間】 9:30~15:00(平日) 【予約方法】 ・電話予約のみ ・利用希望日の前日又は当日に1回分の予約受付可。(希望日が週の最初の平日の場合は、前の週の平日の最終日と希望日当日)</p>
--	---	--



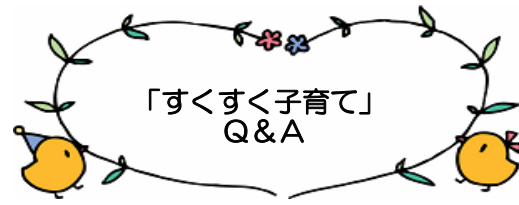
(詳しい内容は直接電話などでお尋ねください)

《栄養士・保健師来所》
 別支・・・18日(水)10:00~12:00
 牛支・・・25日(水)10:00~12:00
 ○栄養士と保健師が来所します。子育てについてお気軽にご相談ください

《おもちゃ病院》 無料・予約不要
 別支・・・13日(金)10:00~12:00
 牛支・・・26日(木)10:00~12:00
 ○壊れたおもちゃをボランティアのかたが無料で修理して下さいます。お気軽にお持ちください
 ○感染予防の為、玩具はお預かりして、翌月のお返しとなります。ご了承ください
 ○おもちゃ病院の予約は不要ですが、そのままセンターで遊ぶことはできません。センター利用の場合は事前予約をしてください

《げんきっこタイム》 毎日
お帰りのほんの少しの時間ですが・・・
 ○体操・ふれあい遊び・手遊びなど
 体を動かして遊びます

《子育てセミナー》
【別支・・・19日(木)】
 内容:「お楽しみ劇場」と「遊び」
 ~どんなお話がとび出てくるのかな~
 時間:10:30~11:30 10組
 ・10:30~ お楽しみ劇場
 ・11:00~ 好きな遊び
 講師:センター職員
 対象:未就園児親子 10組
 託児なし
 申込:8月10日(火)~13日(金)
 電話予約のみ(9:30~15:00)
 センターへ直接申込



今回のテーマは、「しつけ」についてです!

Q1 子どもをしつけるには、いつからどうすればいいの?

A.1 しつけを始める年齢は0歳の時から始まっているといえます。その方法は、その子の成長に合わせて、子どもの想いに寄り添いながら1つ1つ向き合い、繰り返していきっていくことです。そうすることで、基本的生活習慣や対人関係(社会)でのルールを少しずつ身につけていくことができますね。

子どもを厳しくしつけるべきなのか、厳しすぎるとのびのび育たないのでは???

表情からも良し悪しを伝える

やってはいけない(止めさせたい)ことは、険しい表情で教える!

引っ張って、ビリビリ破っちゃえー!!

やっても良いことは、にっこり笑顔を見せることでOKサイン!

どうすればよいかを伝える

具体的はどうすればいいのかわからないと子どもは何度も同じ行動を繰り返します

＜公共の場で大きな声で話す＞
 ↓
 ここでは、小さな声で話すよ。

＜遊んで寝ない時＞
 ↓
 お目目は閉じようね。ねんねの時間だよ!

＜物を投げる＞
 ↓
 これは投げるものじゃないよ。○○するものだよ!

＜他の子が遊ぶ玩具で遊びたい＞
 ↓
 後で「貸して」って聞いてみようね。

【親の姿は?】
 あいさつ、食事の作法、片づけ方など、子どもは親の姿をよく見て真似をしようとします。子どものしつけをする前に、今一度自分や周りの大人を見直してみることも大切です

しつける前に気をつけたいこと!

【大人の都合で「ダメ」と言っていないですか?】
 いろんな経験を通して子どもは自然の摂理や原理を学んでいます。水たまりに入ったり、しゃがみこんで泥遊びをしたり...「今、子どもがしていることは本当にやってはいけないことなの?」「大人にとって都合の良い子にするために、行動の制限をしていませんか?」